



高台っ子タイム 11月27日

児童会からいじめ防止に向けた取組の提案がありました。先月10月は、いじめ防止強調月間で生活目標は「正しい言葉遣いで話そう」でした。そこで、各学級での取組(裏面)を集約し、児童会として合言葉をあいうえお作文で作成し、高台っ子タイムで伝えました。

子供たちの取組だけでなく、子供たちの取組を学校と家庭でサポートしていくことが重要だと考えています。交通安全もそうですが、言葉で伝えるだけでは、身に付きません。頭ごなしに怒っても、その人がいないところで(怒られないところで)繰り返してしまうかもしれません。大事なことは、できる限り子供の様子をよく見て、できたときに褒めて認めて実感を伴った学びにすることです。「今の言葉がけ、いいね」というように「できてないときに怒るよりも、できたときに褒める」を意識して取り組みます。



あ 相手の気持ちを考えて
い 嫌な言葉を使わない
う うれしい言葉で
え 笑顔いっぱい
お を心がけよう



高台小の10~11月のいじめ防止の取組

- ①第2回いじめアンケート調査 10/7~
 - ②ストレスチェック 10/7~
 - ③命の安全教育 1・3・5年生 (10月中に各学級で実施)
SNS利用に係る学習 2・4・6年生 (10月中に各学級で実施)
 - ④メディアを考える週間(各家庭) 9/30~10/4
 - ⑤各学級でのいじめ防止にむけた話合い (10月中に各学級で実施)
 - ⑥人権擁護委員会による人権教室(5年) 10/31
 - ⑦CAP旭川による人権教育プログラム 3年 11/8
 - ⑧スクールカウンセラーとのいじめ対策組織会議 11/12
 - ⑨旭川中央警察署の方からの薬物乱用等の非行防止教室 5・6年 11/13
 - ⑩児童教育相談 11/18~25
 - ⑪高台っ子タイムでの児童会からのいじめ防止の発表 11/27
- ※連携先との日程調整や学校行事の関係で年度初めの計画から変更されているものもあります。
※道徳をはじめ、各教科や特別活動、校内および校外生活においても日常的な指導に取り組んでいます。

指導の重点(できてないときに怒るよりも、できたときに褒める)

- ①だれでも
 - ・「相手が誰であっても」、嫌な言葉は使わない。相手に手を出したりしない。
- ②いつでも
 - ・「機嫌が悪くても」「腹を立てているときでも」「自分が正しくても」嫌な言葉は使わない。相手に手を出したりしない。
- ③どこでも
 - ・「誰も見ていないくても」「子供しかいないときでも」「教室でも」「公園でも」「先生や保護者がいないときでも」自分で判断して行動できる。

いじめ防止月間の各学級での取組

10月のいじめ防止月間に各学級でいじめをなくすためにどんなことが必要か話し合いました。出た意見を一つにまとめたり、一人一人の意見を掲示したり、使うと仲良くなれる言葉や使うとみんなが嫌な気持ちになる言葉を出し合って掲示したりと、取り組み方はそれぞれですが、いじめをなくすために大事なことを子供たちの目線でまとめました。

- 相手の立場になって思いやりをもつ
- 誰とでも仲良く出来る学級（5-2）

みんなが仲良く、楽しく過ごせるように、協力して友達に優しくする。（1-1）

- 相手の気持ちを考えたり、立場になって考えたりする
- 思ったことをすぐ口に出さない
- 相手の気持ちを考えて発言をする
- けんかしたり、何かで勝ったり負けたりしたとき調子に乗っている時や、イライラしていても気持ちを落ち着かせ、嫌な言葉をかけないことを心がける。
- バカ 死ぬ きもいという言葉遣いを少しずつ正しい言葉遣いをして相手の気持ちを考えて使う。
- 感情に身を任せすぎない言葉遣い
- 言葉遣いや自分の行動を気を付ける
- 先生にため口× 友達の悪口× （4-2）

- ☆良いことポスト
「言い言葉って何だろう？」→言われると心が満足する言葉
「どんな心がけが必要？」
→・人の心を壊さない
- 良いことをたくさんする
 - 傷つけない
 - ポジティブに考える
 - ふわふわ言葉
 - 広い心をもつ（3-2）

- 軽い気持ちで正しくない言葉を使っていたから、次からは言わないように意識する。
- 友達に対して軽い気持ちで正しくないことを言うてしまうことがあったので、これからは言葉遣いに気を付ける
- 正しくない言葉を使うのではなく、正しい言葉を使う
- 友達にはどちらかという正しくない言葉を使っているから、正しい言葉を使う
- 言葉は正しい方が気持ちが良いから、気を付けるようにする
- 正しくなかったらすぐに謝る。
- 軽い気持ちで正しくない言葉を友達にむけて使っていたので、これからはいろいろな人に正しい言葉をつかえるように気を付ける
- 正しい言葉をたくさん使えるようにしたい
- 相手に嫌な気持ちをさせないように言葉遣いを気を付ける。
- ちくちく言葉が多かったから、なるべく我慢をする
- 自分が言われて嫌な言葉は言わないで、相手の気持ちを考えて言葉を選ぶ
- 言って良いことと悪いことを区別する
- 相手の気持ちを考えて発言をする（6-1）

ネガティブ言葉・嫌な言葉の変換→ポジティブ言葉に変える
・・・周りの人が注意する勇気（6-2）

- え 笑顔になれる
が がんばれる
お おうえんしよう
い いいね！
っ つらいときも
ば ハッピーになれる
い いじめのない5-3

人が傷つかない言葉を考えて生活をしよう（2-1）

- 相手の傷つく言葉を使わない
- 相手の立場になって（5-1）

いらいらを人にぶつけない
相手の気持ちを考える（2-2）

- ちくちく言葉をみんなで出す。→絶対に使わないと共有・掲示
- ふわふわ言葉をみんなで出す。→全体で共有+掲示（1-2）



- ①言われてうれしい言葉を1人ずつ書く。
- ②使っていきたい言葉の確認
- ③学級内に掲示（3-1）



人が傷つく言葉は使わず、相手が言われてうれしい言葉を日常的に使うようにする（4-1）

